

2017.9.10 年間第 23 主日

教会指導者の権限

マタイ福音書 18 章 15-20

(そのとき、イエスは弟子たちに言われた。)「兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで忠告しなさい。言うことを聞き入れたら、兄弟を得たことになる。聞き入れなければ、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。すべてのことが、二人または三人の証人の口によって確定されるようになるためである。それでも聞き入れなければ、教会に申し出なさい。教会の言うことも聞き入れないなら、その人を異邦人か徴税人と同様に見なしなさい。

はっきり言うておく。あなたがたが地上でつなぐことは、天上でもつなぐれ、あなたがたが地上で解くことは、天上でも解かれる。また、はっきり言うておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。」

説教

福音を読んでいて、嫌な感じになることが時々あります。きょうの福音箇所も読んでいて違和感というより嫌な感じがします。

3年前の説教(2014.9.07)を読み返してみたら、こんなことを書いていました。

マタイ 18 章を表面的に理解すると恐ろしい内容になります。一人の人に対してよってたかって責め立てて、その人が回心しなければ追放しなさい。二、三人でもイエスの名によって集まっているなら、それは主のみこころを現しているのです。その裁定には問題はありません。

福音を斜めから読めば、こう読み取れないこともありません。そしてこれをイエスのことば(福音)とすることにも矛盾があります。「教会」に申し出

ろ、とか「教会」の言うことを聞き入れないなら、とイエスはしゃべることができません。教会はイエスの復活、昇天のあとにできたからです。イエスが生きている時代に教会はありませんでした。

見える教会、見えない教会という言い方があります。会堂がある教会が見える教会で、会堂がない教会が見えない教会という区分というわけではないのですが、気分的にはそんな分け方でいいと思っています。きょうは日曜日でキリスト教会は主の日の礼拝をおこなっています。世界に広がるキリストの教会に聖霊が注がれ、イエスさまも世界各地の教会でおこなわれている礼拝に招かれて出かけていることだと思います。見えない教会とはそういう意味で、いまでは世界に広がったキリスト教会の霊的な集会なのだと理解しています。キリストの名のもとに集まった信じるわたしたちに豊かな祝福がありますように。

きょうのみことば（福音）はマタイが生きていた時代のマタイ教会での掟です。そして100年、200年の迫害の時を経てついにローマの国教となったキリスト教会が積極的に取り込んでいったマタイ福音書の掟（律法）です。世界史的には迫害されていたキリスト教がローマ帝国の国教となったことで迫害するキリスト教に変容していくときに、支えとなるみことばとして曲解されました。わたしが感じる「いや」さはここに 있습니다。世界に広がるキリストの教会の指導者と呼ばれている人たちがマタイ福音書の18章を聖霊の助けをもって正しく読み返して、神のみこころに従い、けっしてそむくことなく行うことができますように。福音を読んでいて、嫌な感じになることが時々あります。きょうの福音箇所も読んでいて違和感というより嫌な感じがします。

3年前の説教（2014.9.07）を読み返してみたら、こんなことを書いていました。

マタイ18章を表面的に理解すると恐ろしい内容になります。一人の人に対して

よってたかって責め立てて、その人が回心しなければ追放しなさい。二、三人でもイエスの名によって集まっているなら、それは主のみこころを現しているの、その裁定には問題はありません。

福音を斜めから読めば、こう読み取れないこともありません。そしてこれをイエスのことば（福音）とすることにも矛盾があります。「教会」に申し出る、とか「教会」の言うことを聞き入れないなら、とイエスはしゃべることができません。教会はイエスの復活、昇天のあとにできたからです。イエスが生きている時代に教会はありませんでした。

見える教会、見えない教会という言い方があります。会堂がある教会が見える教会で、会堂がない教会が見えない教会という区分というわけではないのですが、気分的にはそんな分け方でいいと思っています。きょうは日曜日でキリスト教会は主の日の礼拝をおこなっています。世界に広がるキリストの教会に聖霊が注がれ、イエスさまも世界各地の教会でおこなわれている礼拝に招かれて出かけていることだと思います。見えない教会とはそういう意味で、いまでは世界に広がったキリスト教会の霊的な集会なのだと理解しています。キリストの名のもとに集まった信じるわたしたちに豊かな祝福がありますように。

きょうのみことば（福音）はマタイが生きていた時代のマタイ教会での掟です。そして100年、200年の迫害の時を経てついにローマの国教となったキリスト教会が積極的に取り込んでいったマタイ福音書の掟（律法）です。世界史的には迫害されていたキリスト教がローマ帝国の国教となったことで迫害するキリスト教に変容していくときに、支えとなるみことばとして曲解されました。わたしが感じる「いや」さはここに 있습니다。世界に広がるキリストの教会の指導者と呼ばれている人たちがマタイ福音書の18章を聖霊の助けをもって正しく読み返して、神のみこころに従い、けっしてそむくことなく行うことができますように。
